

# おかいち ふれあい サポートだより



地域教育コーディネーター  
大滝 江里子

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に響きわたっています。  
休みあけ早々、6年生は十二湍の観察会と「全国川サミット in 新潟」での発表を行い、無事終了することができました。今号ではその様子を紹介します。

## 6年生が発表した「全国川サミット in 新潟」 素晴らしかったです！！

9月5日に新潟グランドホテルで「全国川サミット in 新潟」が行われ、6年生が、阿賀野川に関する活動を行っている団体の事例発表として、これまでの学習の成果を発表しました。

発表は、阿賀野川の歴史や十二湍が河跡湖になった移り変わりについて、十二湍のアサザ・ガガブタの希少性について、岡方地区コミュニティ委員会の保全活動について、学校のこれまでの学習についてなどでした。約20

分にわたる長い発表でしたが、会場のお客様に「十二湍クイズ」を出し、アサザ・ガガブタをわかりやすく紹介する場面もあり、時折笑いも起こりました。また、「もっとたくさんの方に十二湍のよさを知ってもらうために情報発信の方法を考えていきたい。」や、「宝として未来に残せるかは私たちの取り組み次第です。」との力強い言葉に、皆さんは深く感動した様子でした。



終了後の子どもたちの感想文には、「夏休み中も、家で毎日練習をした。」とありました。そして、「本番ではあまりにも緊張して心臓が爆発するような感じだった。」そうで、どの子もサミットのために真剣に取り組んだ様子がうかがえました。



発表は、「とても上手にできて、家の人や地域の人に褒めてもらった。」  
ということで、練習はとても大変だったけど、「今までの6年生の活動や自分たちで調べ、まとめたものを全国に広められたことがとてもうれしかった。」  
ことから、頑張った成果が実感できる貴重な体験だったと思います。見に来てくださった方からは、「感動したし、鳥肌がたった。それほどすごい発表だった。」とのお言葉をいただきました。



この学習は、「自分のふるさとを誇りに思い、大切にすることを育てたい」という学校の願いと、「次代の保全者が育てしてほしい」という皆さんの願いから平成24年に始まりました。たくさんの方のご協力により豊かな学びをさせていただいているという実感が得られ、感謝と幸せの気持ちでいっぱいになりました。

当日、たくさんの地域、お家の方に来ていただきました。ありがとうございました。

学習はこれからも続きます。今後もご支援をよろしくお願いいたします。

発表については、学習の様子を見ていただいている「新潟市潟環境研究所」のフェイスブックでも紹介されています

潟環境研究所 Facebook



## 第2回観察会も終了しました。

川サミットの前にアサザでいっぱいの十二潟を見ておきたいと、9月1日に観察会を行いました。

小雨の降る中でしたが、倉重先生や岡方地区コミュニティ委員会などの地域の方と一緒に調査をしました。

ありがとうございました。

